

平成27年度予算編成にあたって (合理化計画の推進)

我が国の経済情勢は、内閣府が公表した10月の月例経済報告によれば、「景気は、このところ弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている」とされ、先行きについては、「当面弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復することが期待される。ただし、駆け込み需要の長期化や海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要がある」と指摘しています。

また、政府においては、閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2014」の中で、引き続き「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」の三本の矢を一体的に推進し、経済の好循環と民需主導の経済成長に向けた環境整備に取り組むことなどを基本的な考え方として経済財政運営を進めるとしており、その効果が大きいと期待されることです。

このような中、国の平成27年度予算については、民需主導の経済再生と財政健全化目標の双方の達成を目指し、無駄を排除し、厳しい優先順位付けを行い、メリハリのついた予算にすることとしています。

また、社会保障の安定財源の確保と財政の健全化を同時に達成することを目的に、本年4月から消費税率が8%に引き上げられたところですが、増税後の景気が想定外に下振れしていることから、平成27年10月に予定されている消費税率10%への引上げについては、景気指標等を総合的に勘案のうえで、その施行の停止を含め、12月中に慎重に判断することとされるなど、今後とも経済成長と財政再建の両立に向け、極めて厳しい財政運営を強いられる状況となっています。

地方においても、少子・高齢化が進展する中、社会保障関係費が増加するとともに、これまで景気対策や恒久的減税の財源のために発行した地方債、地方交付税の振り替わりとして発行した臨時財政対策債などにより、平成26年度末の債務残高が200兆円に上る見込みとなっており、その償還が将来世代の大きな負担になることが懸念されています。

本市においては、既に平成26年度から合併算定替えによる普通交付税の段階的縮減が始まっており、財政運営が一段と厳しさを増す中で、社会保障制度に要する費用や老朽化した市有施設の維持管理経費が継続的に増加する傍ら、人口減少に対処するための施策、雇用確保や産業振興、災害への備えや安全で安心なまちづくり、さらには教育の充実など取り組むべき事務事業にかかる経費の財源確保も急務となっています。

加えて、平成27年度から平成30年度には、市民サービスの向上や災害時の防災拠点として一本化した庁舎機能を確認するため検討を進めている「新庁舎の建設」、老朽化により施設の更新整備が必要な「新クリーンセンターの建設」、「統合給食センターの建設」など、合併特例債を活用した大型建設事業の実施がピークを迎えることも見込まれ、財政調整基金をはじめとする各種基金を取り崩しても予算編成が立ち行かなくなる事態が危惧されます。

こうしたことから、今年度の合理化計画ローリングにおいても、『下呂市がめざす新しい自

治体運営』を実現するため、『身の丈に合った財政運営を目指す視点』、『原点へ立ち返る視点』に着目した総点検、総見直しを全職員にお願いしましたが、残念ながら、今後の歳入見込を見据えた一般財源削減目標額と各課提出調書の額には大きな乖離があります。今後さらなる事務事業の「選択と集中」を推進することは言うまでもありませんが、限られた財源を有効活用し、持続可能な行政サービスを実現することを念頭に置き、効果検証による精査と取捨選択、手法転換、効率的な実施に向けた計画づくり等を確実に進めるとともに後年度の負担についても十分検討した恒常的な事務事業の見直しを行っていただく必要があると痛感しています。

平成27年度予算編成にあたり、合理化計画を「内示」という形で示しますが、内容については十分な協議をされたものばかりではありません。今後も合理化計画の趣旨をご理解のうえ、市民サービスの低下を招かないよう知恵を出し工夫を凝らしながら、推進していただくようお願いします。

今後、職員の減少、極めて厳しい財政状況が見込まれる中、目先の業務消化にとどまることなく、先を見越した業務に取り組む姿勢、市民と行政の協働による新しいまちづくりを推進するという強い姿勢で日々の業務に励んでください。

さらに、将来に向けたまちづくりの羅針盤として計画策定を進めている「下呂市第二次総合計画」の基本理念である『参画と協働による ふるさと磨き』を踏まえた、平成27年度予算編成に取り組んでいただきたいと思います。

市内外を問わず、誰にとっても愛着の持てる「ふるさと」として、「今も未来も元気な下呂市」を実現するため、職員の皆様のご協力をよろしくお願いします。

平成26年11月12日

下呂市長 野村 誠